

- 2011年 わたしたちの抱負
- より安全で確実な放射線治療
- 外来棟改修工事 折り返し地点に突入
- モニターズクラブ  
病院調査探検隊 始動
- 先進医療 治療実績のご紹介

## 2011年 わたしたちの抱負

2011年度で病院再開発が完成します。高度情報化に対応した新しい病院の誕生です。しかし、最も重要なことは、本院の医療が患者さんから信頼され、病気の将来に"夢"を提供できる医療を進める事にあります。そのために、急激に進歩する医療の最先端技術を分かりやすくお伝えし、正しい治療を選択いただけるよう取り組んでまいります。ファイトをもって前進あるのみです。



病院長 柏木 厚典



副病院長  
総括・リスクマネジメント担当  
松末 吉隆

大学病院に相応しい高い医療水準を維持し、患者さんが安心して医療を受けられるように医療安全を推進し、患者さんと一緒になって病気の治療や予防に取り組むように努力します。



副病院長  
企画・評価・医療研修担当  
村田 喜代史

今、病院は再開発というハード面での大きな改修が進行していますが、それを支える組織や人材の育成や機能的な病院運営のしくみというソフト面での改革に取り組んでいきたいと考えています。



副病院長  
病院再開発担当  
竹内 義博

2003年度から私が担当して来た附属病院再開発は2011年度で完了します。

今後も「改革は辺境（マージナル）から」をモットーに、総ての職員が自ら奉職する病院に誇りを持てるよう取り組んでいきます。



副病院長  
経営・業務改善・事務総括担当  
酒井 哲夫

病院再開発の最終年度を迎え、病院機能が最大限発揮できるよう、業務の改善を図るとともに、患者さんのためのサービス向上を目指し、努力したいと考えています。



副病院長  
患者サービス担当  
藤野 みつ子

4月には手術部14室本格稼働と新人教育が看護臨床教育センター主導へ、8月にはICUが12床へ増床と、2011年も盛りだくさんです。ワクワク、ドキドキ、そしてイキイキ邁進したいと思っています。



# より安全で確実な放射線治療

放射線科

本院では、新たに高精度放射線治療システム（リニアック）を導入し、今年9月より運用を開始しました。

これにより、悪性腫瘍等の放射線治療がより安全で効率的に行えるようになりました。

## 特徴・特色

従来の装置とは異なり、リニアックは、装置自体が回転し、腫瘍等の形状に合わせてながら集中的に放射線を照射します。その精度はミリ単位で、極めて正確にビームを照射でき、健康組織への被ばく線量を大幅に軽減できます。

本院では、より正確な放射線照射を行うため、CTやMRで得られた情報をもとに、3次元治療計画を立て、治療を進めています。さらに、患者さん1人1人に合わせて樹脂製の固定具（シェル）を製作し、より高精度な位置合わせを行っています。

また、リニアックは、頭部から手足にいたるまで全身に使用でき、体中どの部分でも治療が可能です。

## 強度変調放射線治療について

強度変調放射線治療とは、主に頭頸部や前立腺のがんに対して用いられる治療法で、様々な条件を設定後、何万通りの照射法の中からコンピュータが最適な方法を計算し、複数のビームにより放射線に強弱をつけ照射します。

本院では、これまでも強度変調放射線治療を積極的に実施してきましたが、この度、最新鋭のリニアック導入により、滋賀県内で唯一「1回転照射 強度変調放射線治療」が行えるようになりました。これまで以上に、高品質かつ効率的な治療が可能で、治療時間も短く、患者さんへの負担が緩和できます。



放射線科スタッフ



## メッセージ

スタッフ一丸となって、より負担が少なく精度の高い放射線治療の実現に向け努力してまいります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

# 外来棟改修工事 折り返し地点に突入

## 病院再開発推進室

外来診療棟の改修工事を開始してちょうど1年が経過しました。この1年間で、約半分の診療科の改修・移転が完了しました。今後は、大きくわけて2回（平成22年12月～平成23年5月、平成23年6月～平成23年10月）の改修工事を実施する予定です。



改修期間中は、仮設診療ブースでの診療となります。異なる診療科が同じスペースに同居して限られた診察室を使用するため、受付及び待合も共有で狭くなります。また、場所が変わるため、案内板（矢印）を設置いたしますが、何分病院再開発中のため、ご不便、ご迷惑をおかけいたします。

	改修・移転済み	H22.12～H23.05 改修	H23.06～H23.10 改修予定
<b>3階</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳鼻咽喉科</li> <li>母子診療科</li> <li>女性診療科</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>麻酔科</li> <li>ペインクリニック科</li> <li>眼科</li> </ul>
<b>2階</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児科</li> <li>腎臓内科</li> <li>糖尿病内分泌内科</li> <li>整形外科</li> <li>リハビリテーション科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科</li> <li>呼吸器内科</li> <li>消化器内科</li> <li>血液内科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泌尿器科</li> <li>皮膚科</li> </ul>
<b>1階</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急部</li> <li>歯科口腔外科</li> <li>脳神経センター (精神科神経科・脳神経外科・神経内科)</li> <li>総合診療部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心臓血管外科</li> <li>呼吸器外科</li> <li>消化器外科</li> <li>乳腺・一般外科</li> <li>腫瘍内科</li> </ul>	

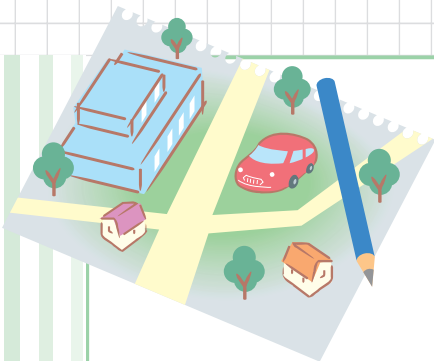
## 外来診療棟

また、中央診療棟の改修は、10月末にICUの一部、検査部（病理検査室）及び輸血部（自己血採血室）の改修工事が完了し、11月から旧手術室の改修工事が始まりました。改修工事中（平成23年2月末まで）は、手術室が新手術棟6室と既設棟2室の計8室となり、手術枠が少なくなります。さらに、11月末には、1階病院玄関入って右側の総合受付（各種窓口）が玄関入って左側に仮移転しました。みなさまのご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。



# モニターズクラブ病院調査探検隊 始動

病院管理課



平成22年10月6日・13日の両日、本院モニターズクラブのメンバーによる病院調査探検が行われました。これは、患者さんの視点に立って調査いただき、

そのご意見等を病院運営に反映させることを目的に、今年度から初めて実施する試みです。

モニターの方々には2班に分かれていただき、病棟部門と外来部門を利用者の目線で点検調査していただくとともに、患者さんへのインタビューも行いました。

指摘いただいた内容はすべて原因を分析し、院内研修での具体例として取り上げるなど、今後の改善に活かし、より信頼していただける病院を目指してまいります。



くまなくチェックいただきました

## チェック内容



- 患者さんの流れや職員の対応
- 掲示や案内は分かりやすいか
- トイレや浴室は安全で清潔か
- 駐車場や食堂・売店の利便性

など

# 先進医療 治療実績のご紹介

## 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法

がん細胞を攻撃するリンパ球を増やす働きのある樹状細胞を培養して注射します。本院では、肺がん・乳がんが対象疾患です。(承認日：平成17年6月1日)

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
14回	23回	23回	28回	62回

先進医療とは、最新の医学水準であると厚生労働大臣から承認された医療で、高度な技術を持つ医療スタッフと十分な施設や設備を持つ医療機関だけで行われています。本院では平成22年11月現在で6つの先進医療が承認されています。

## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第29号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します